

今月の一言:裏面は請求要求アンケート集約途中結果です。まだ回答されていない方、ぜひ送ってくださいね!

第三次担い手3法の周知&請求・要求アンケート結果

東京土建の14支部から410件を集約しました。担い手3法の認知は17.6%と、圧倒的多数の仲間が知らないままです。賃金・単価引き上げ交渉を行なったのは35%で、そのうち約60%が何らかの引き上げを獲得をしています。担い手3法を知っている仲間では54.2%が交渉を行ない、知らないと答えた仲間の70%近くが交渉していません。交渉しなかった理由は「なんとなく」が30%超と多く、「解雇・雇止めが不安」も10%ありました。仲間からは、「労務費も経費も上げてもらった。要求してみても良かった」という声も届いています。

東京都議会、不払い対策強化を求める陳情を採択

東京土建も所属する東京都連が都議会に提出していた「『東京都社会的責任調達指針』の適用範囲の拡大及び通報窓口の運用強化に関する陳情」が6月6日に全会一致で採択されました。内容は、都発注工事現場において詐欺的悪質業者による下請け業者への工事代金不払い事件が頻発し、仲間に被害が出ていた問題で、東京土建が数年にわたって都に対策強化を求めている主張が、都議会で認められたものであり大きな成果です。この採択を活かし、都に不払い防止対策の強化を求めていきます。

仲間の不払い被害について、国交省、大成建設に要請

東京土建と神奈川土建の仲間が工事代金不払い被害を受けている二つの案件（元請：東急建設、大成建設）について、5月28日、国交省関東地方整備局に対して元請への指導強化を、大成建設横浜支店に対して被害者の救済を求める要請を行ないました。

業界・現場改善のため皆さんの働き方を教えてください

直近のアンケート集約などにより、働き先や所属群が現在の登録と合っていない仲間がちらほら出てきています。群活動を実態に即した運動にするため、全ての野丁場群の仲間の実態把握を行ないます。把握する内容は、職種、階層、丁場、主な元請、現在（回答時）従事している現場です。QRコードからお答えください。回答により個人の情報が漏れたり、仕事や現場に影響がある事は絶対ありません。



JACによる特定技能外国人の一時帰国費用支援

6月に、特定技能外国人の一時帰国費用支援支給額が増額され、累計2回（1回80,000円）まで申請可能となりました。申請希望の受け入れ事業所は、直接JACの専用窓口やサイトを確認し申請してください。※対象は特定技能外国人（特定技能1号・特定技能2号）のみ。技能実習生など他の在留資格の人は対象外です

お読みになった方はお名前をご記入の上、渋谷支部までご返送ください 氏名：